

1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2024年4月10日 発行

- 発電所の業務をご紹介します
- みなさまのご質問におこたえします
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 夜の森地区美化活動に参加しました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



福島第二原子力発電所構内
撮影日:2024年4月7日



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。
<https://www.tepcoco.jp/2f-np/index-j.html>

当所の廃止措置は、原子力規制委員会から認可をいただいた「廃止措置計画*1」に基づき実施しています。

廃止措置計画グループでは、安全かつ計画的に廃止措置作業を進めるため「廃止措置計画」に定める内容について発電所内の取りまとめを行っております。

至近では、発電所構内に新たに設置する「使用済燃料乾式貯蔵施設*2」に関する内容を「廃止措置計画」に反映するための検討を行っています。

- *1 原子力発電所から使用済燃料等を取り出すとともに、施設を解体撤去しこれに伴い発生する廃棄物の処理処分を安全に行うための計画を事業者が申請し、原子力規制委員会に認可されたもの。
- *2 使用済燃料を「乾式キャスク」と呼ばれる金属製の容器に収納し、コンクリート壁で覆われた構造物で保管する施設。



3月26日に行われた「廃止措置」に関する会議



会議の進行を務める廃止措置計画グループ
(右奥2名)

「廃止措置」の計画、進捗の管理にグループ一丸となり取り組む

－業務について教えてください

「廃止措置計画」には、当所の廃止措置作業に関する様々な内容が定められており、作業を担当するグループも多岐にわたります。

使用済燃料乾式貯蔵施設に関する内容だけでも多くの関係者が各分野において検討する必要があるため、一つのプロジェクトとして全体方針を定めて、各グループにおける検討業務の支援や関係者を集めた会議の運営を行い、検討が計画どおり進んでいるか、内容が十分かを確認しています。

－業務を行う上で心がけていることは

安全を最優先に廃止措置作業を進めるため、どのような計画とすべきか日頃から考えるとともに、地域・社会のみなさまに安心していただくためにはどうすればよいかを意識しながら業務に取り組んでいます。

また、所内外の関係者との調整も多く行うため、コミュニケーションや部署間の関係性を大切にすることで、悩みや問題点を適切に共有して、円滑に業務が進むよう心がけています。



安全総括部
廃止措置計画グループ

さくらい しゅん

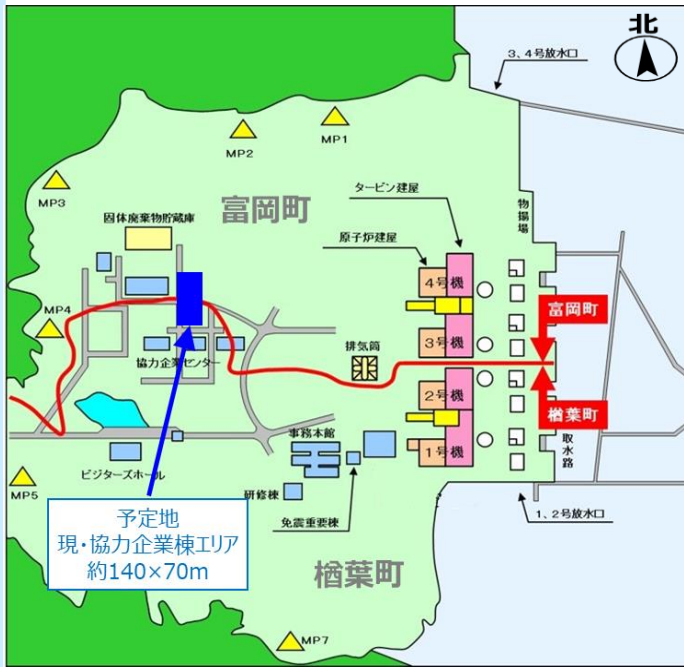
櫻井 駿 (茨城県 東海村出身)

みなさまのご質問におこたえします

Q. 福島第二原子力発電所の廃止措置作業はどこまで進んでいるの？

A. 現在、「福島第二原子力発電所廃止措置計画」に定めた工程（44年間で実施予定）のうち、第1段階となる解体工事準備作業を進めております。
 原子炉本体の解体を行うにあたり、第2段階終了（2043年）までに使用済燃料プールから使用済燃料を搬出する計画でおります。
 使用済燃料の搬出については、2027年度を目指しており、搬出した燃料を発電所敷地内に貯蔵するため「使用済燃料乾式貯蔵施設」の建設を進めてまいります。

使用済燃料乾式貯蔵施設 設置予定地



使用済燃料乾式貯蔵施設 概要

乾式貯蔵施設

乾式貯蔵モジュール (コンクリート遮へい構造物)

約9m × 約6m

9列

コンクリート壁厚 約0.40m

防護設備 ※イメージ図

モニタ設備

8カスク/列 収納

乾式カスク

主要寸法 (カスク本体)

- 全長 約5.4m
- 外径 約2.5m

収納体数 69体

原子炉建屋

使用済燃料をカスクに収納

搬送車両

設置場所：発電所敷地内の高台エリア（現・協力企業棟エリア）
 規模：使用済燃料プール貯蔵中の使用済燃料全9,532体のうち、約半数(4,761体)を対象
 仕様：使用済燃料を収納するカスク、乾式貯蔵モジュール、監視設備などにより構成
 着工予定：2025年度・搬出開始予定：2027年度

発電所構内の空間線量

（単位はマイクロシーベルト毎時）

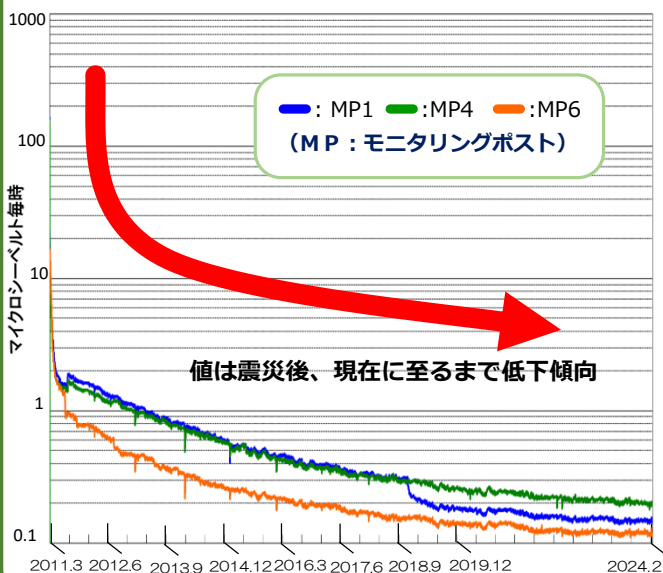
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2024年3月20日 時点

0.08 [MP7] ~ **0.22** [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2024年2月29日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (文化交流センター)	0.13	楢葉町 (役場)	0.07
広野町 (役場)	0.07	川内村 (役場)	0.06

出典：福島県放射能測定マップ (市区町村別線量率一覧) より (2024年3月20日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.13
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：Safecast (福島県放射能測定マップ) より

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて原子炉から取り出し、1~4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号炉	2号炉	3号炉	4号炉

夜の森地区美化活動に参加しました

4月6日、7日に開催された「富岡町桜まつり2024」に先立ち、実行委員会主催による夜の森地区の美化活動が3月9日に行われました。雪が残る寒空となりましたが、多くの町民や町内企業・団体が集い、桜並木沿道のゴミ拾いや、夜ノ森駅前・基準木周りの花植えを行いました。福島第二原子力発電所からは14名の所員が参加し、町内の皆さまと共に、桜まつりに向けた美しい町づくりにご協力させていただきました。



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,334人※です。(2024年2月1日現在)

※1日あたりの入構者数は約950人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	350人	1,776人	2,126人 (91%)
県外	45人	163人	208人 (9%)
合計	395人	1,939人	2,334人 (100%)



編集後記

3月11日、一般社団法人とみおかプラスが主催した「富あかり」が、富岡第一小学校跡地で行われ、お手伝いをしてきました。

地元の学生達が竹で作った三角灯籠には、富岡町の復興を願うメッセージとイラストが綺麗に装飾され、暗闇の中で灯された様子は幻想そのものでした。今後も、富岡町の復興と未来につながる活動を引き続き応援してまいります。



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



福島第二原子力発電所のホームページもご覧ください。

<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
TEL 0240-25-1353 (受付時間 (平日) 午前9時 ~ 午後5時)
fuku2kouhou@tepco.co.jp (受信専用)